

設計施工プロポーザルによる工事発注（静岡県小山町）

取組概要

- ・役場庁舎前の県道の拡幅の伴い、役場庁舎車寄せ部を除去し、新たにキャンピーを設けた。
- ・県の補償金の範囲内で役場エントランス部の設計施工プロポーザルを実施。この時に行政アドバイザーに登録の建築家にイメージスケッチを書いていただき、それを参考にすることを条件とした。このことにより町の意向を設計に反映させるようにした。

人口 19,200 人

担当 まちづくり専門監

取組の効果

- ・工期が短縮され、設計費相当額の節約になった。
- ・行政アドバイザー制度を活用することで基本設計費の大幅節約につながった。
- ・入札時に不調になる恐れがない。

創意・工夫した点

- ・従来は設計、施工と別々に発注していたものを、同一業者が一体で実施するプロポーザル方式で発注。
- ・設計施工プロポーザルに参考デザイン画を示すことで、技術提案書が町の意向に沿うものが提出されることに繋がった。

他団体へのアドバイス

- ・行政アドバイザーの仕組みを持ち、事業実施前に相談できるとよい。



BEFOR



AFTER